

報道関係各位

2022年1月12日

** ホームページでも確認できます **

い〜ふなお
1月27日は船穂スイートピー記念日（日本記念日協会認定）

❀花の直行便、初運行！『色々船穂スイートピー即売会』

- 日時：2022年1月21日（金）8:30～13:00（オープン行事）
*即売会は21日（金）～23日（日）の3日間開催します。
- 場所：山手直売所「ふれあいの里」（総社市岡谷23）
- 主催：JA晴れの国岡山

❀JR倉敷駅「くらしきスイートピーロード」記念日イベント

- 日時：2022年1月21日（金）11:00～（式典）
- 主催：JA晴れの国岡山・倉敷市

当JAでは広域性を生かし直行便事業による地産地消活動を展開しています。この度、青果物・米・精肉に続き、初めて花きの直行便による直接販売を始めます。

直売便のメリットは、地元消費者に向け新鮮で良質な品物を値ごろ感のある価格で届けられる上、生産者側は中間コストが削減され、農家所得の向上につながる点です。

今回は日本記念日協会認定の記念日を活用し、船穂スイートピーをJA直売所で販売。JA選果場から自車で短時間輸送し、鮮度と香りに優れた多種多様な色（10色以上を予定）を取り揃え、消費者が自由に選べる形態で販売します。

同時に県内各地のJA直売所で船穂スイートピーを販売することで地元でのブランド確立と消費拡大を図ります。

なお、同日は倉敷市と共催でJR倉敷駅で記念日イベントを開催します。

▼色々船穂スイートピー即売会 概要

- ・出席者／生産者代表・JA役員

▼くらしきスイートピーロード 概要(別途リリースあり)

- ・出席者／生産者代表・JA役員



見頃を迎えているスイートピー

*産地概要は別紙の通り。

【発信元】

JA 晴れの国岡山 総務部総務企画課
〒713-8113 岡山県倉敷市玉島八島 1510-1
TEL：086-476-1830 FAX：086-476-1840
Email:hareoka_kouhou@hr.oy-ja.or.jp

【主催 問い合わせ先】

JA 晴れの国岡山 営農部 販売戦略課
(担当者) 真野 080-4486-1629
〒713-8113 岡山県倉敷市玉島八島 1510-1
TEL：086-476-1837 FAX：086-476-8093

令和4年1月12日

報道関係各位

JA 晴れの国岡山 本店営農部

花の直行便（スイートピー）の取組開始について

1. 花の直行便の取組開始にあたり

現在、当 JA では広域合併のメリットを発揮するため、管内の各共選場と各地の直売所等を自家便で直接結ぶ「直行便」の取組を押し進めています。このことは、組合員に JA による直接販売への取組強化を示すと同時に、農産物や米を地域内で広く流通させ、地産地消を拡大し生産者と消費者の結びつきを強めることに繋がります。

また、生産から販売までを地域内で一貫して JA が手掛けることで、中間流通コスト削減による農家の所得増大、フードマイレージの削減による環境負荷軽減にもつながり、JA が SDGs（持続可能な開発目標）に掲げる、持続可能な農業生産の実現にも役割を発揮できる面もあります。

今回は、桃・ぶどうの直行便や元気玄米・農協精米の直接販売拡大に続き“花き（船穂スイートピー）”について初めて直行便の取組を開始します。これから出荷の最盛期を迎える船穂スイートピーを日本記念日協会認定の記念日も活用し、県内各 JA 直売所で広く取扱いすることで地産地消活動を強化し地元での消費拡大に繋げていきます。

花の直行便運行は、輸送コスト・時間を減少させより安定した品質で芳香に優れた商品を直接消費者に届けることが可能です。また大半が大消費地（東京・大阪）に向けての出荷でしたが、岡山県民に向け多くのスイートピーを届ける取組は、生産者の栽培意欲を高めることにもなります。

2. 取組品目内容

船穂スイートピー（岡山西広域営農センター管内）

・取扱い規格 1箱100本入り（市場出荷用段ボール）を JA が直接買取り直売所で束袋に加工

3. 取組時期

令和4年1月21日（金）～3月末

（次年度以降は12月より取扱い開始予定）

4. 取扱い予定店舗

・百菜市場和気店・アグリびぜん・船穂直売所・山手直売所「ふれあいの里」・矢掛宿場の青空市「きらり」・高粱グリーンセンター・JA あしん広場 他（現在取り纏め中）

1. スイートピーの花言葉『思い出』『門出』とPRポイント

1 1月～4月にかけて、多様な花色を楽しめ花色は「白～ピンク～赤～紫色」とバラエティーに富み、パステル調の優しい花色は、モノトーンの冬に華やぎをもたらす。

開花期に曇天が3日続くと花落ち（つぼみが開かず落ちる）する特性があり、晴れの国おかやまは栽培適地となっています。

花言葉は、花の形が蝶の飛び立っている姿に似ていることと、別れと出会いの季節である4月頃に花を咲かせることの由来で、「門出」「思い出」です。

ヨーロッパではスイートピーをベッドルームに飾り、花色だけでなくルームフレグランスのように軽やかで上品な香りを楽しむ花として親しまれている。

蝶のような花形にくわえ、甘くて優しい神秘的な香りのきれいな花。誕生日、卒業、入学、就職、その他のお祝い、プレゼントなど、更なる飛躍の出発の意味のある花です。

原産は地中海沿岸。

2. 倉敷市船穂地域のスイートピートピックスと栽培歴・特徴

（JA晴れの国岡山 船穂町花き部会）

トピックス

今年度、岡山県と協力し「産地ブランド育成事業」（以下の通り）に取り組んでいます。

① 出荷箱のデザイン変更（27年ぶり。H6年に既存への変更から初めて）

輸出を視野に入れ、スイートピーのイラストを箱に表示・スイートピーの英文字を記載し、外国人でも中身がわかるようにしている。

② 3か国語のリーフレットを作成し、輸出時に優先的に使われる産地を目指して取り組んでいます。

③ 来年2月（予定）にJR岡山駅・倉敷駅でCM動画の配信を計画しています。

④ 「いーふなほの日“1月27日”」イベントとして、船穂産スイートピーを用いたフラワーアレンジメント約40作品を1月21日～23日JR倉敷駅に展示を計画しています。

栽培概況

倉敷市船穂地域のスイートピーは、昭和30年代（60年前）にぶどうの間作として導入され、冬季温暖で日照豊富な気象条件と生産者の高い栽培技術から、品質・生産規模ともに全国有数の産地となっている。

平成4年には共選共販体制を整備し、17年にはバーコード導入により出荷箱を管理することで選別出荷の合理化を図っている。栽培品種、出荷規格の統一、オリジナル品種の開発等を推進し、東京を中心に市場出荷し、市場評価は非常に高い。

小口の実需者向けの4色セット「ももたろう」の販売、海外輸出への取組など多様なニーズに対応し、有利販売に努めている。

平成23年には、1月27日（いーふなお）を船穂スイートピー記念日に制定し、共進会、JR倉敷駅での展示など記念イベントを開催している。このように、産地のブランド力と販売力のさらなる向上を目指している。

1 生産・販売状況（令和2年産）

- ・生産者数：16戸
- ・栽培面積：約4ha
- ・出荷量：約840万本
- ・販売額：約3億円
- ・出荷市場：東京、愛知、大阪、兵庫、広島、岡山等

○栽培体系

栽培方法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
施設加温栽培				→	←		●	●	○		←	

●種子低温処理 ○は種 収穫 ← → 採種 ← - - →

2 産地の特徴

- ・ほぼ全戸が雇用労力（パートタイマー）を活用したスイートピー専作経営である。
- ・共選共販体制を整備し、品種や出荷規格を統一して有利販売に努めている。
- ・養液土耕（かん水同時施肥）栽培が普及しており、施肥・かん水の省力化、生産の安定化が図られている。
- ・部会の平均年齢が比較的若く、組織の結束が固く、活動が活発である。
- ・県の事業の活用により、新規参入者が多く定着しており、産地を支える担い手となっている。
- ・オリジナル品種の育成・色染めのバリエーションに力を入れ、約80品種を有しており、市場の要望や販売状況に応じて柔軟に品種を選択している。

3 産地の課題

- ・近年、生育初期にあたる秋季に高温・日照不足により落蕾の発生や草勢の低下等がみられ、草勢安定のため、きめ細かい管理が求められている。
- ・産地の生産を維持するため、後継型とともに新規参入型の担い手確保が必要である。
- ・産地のさらなるブランド力向上と有利販売のため、インターネットを利用した新規需要の開拓、県内外でのPR活動の強化が必要である。
- ・経営上不可欠な雇用労力の安定的な確保が必要である。



4 その他（新たな取り組み）

- ・令和4年2月にJR岡山駅・倉敷駅でCM動画の配信を計画している。
- ・海外を視野に入れた「出荷箱・リーフレット」を作成し、輸出時に選ばれる産地となるよう目指している。

※間作（かんさく、あいさく）

ある作物のうね間あるいは株間にほかの作物を作付けすること。前者を前作（^{ぜん}上作），後者を後作（^{あと}下作）という。この場合、2作物の収穫物は別々に扱われ、一般には栽培時期や収穫期がずれる。土地利用率を高めることや果樹の未収入期間の所得確保が図れる。